学校見学ガイド

学校説明会の日程は、右記の通りです。
ご参観いただける学校行事もございますので、
ぜひ見学にお越しください。

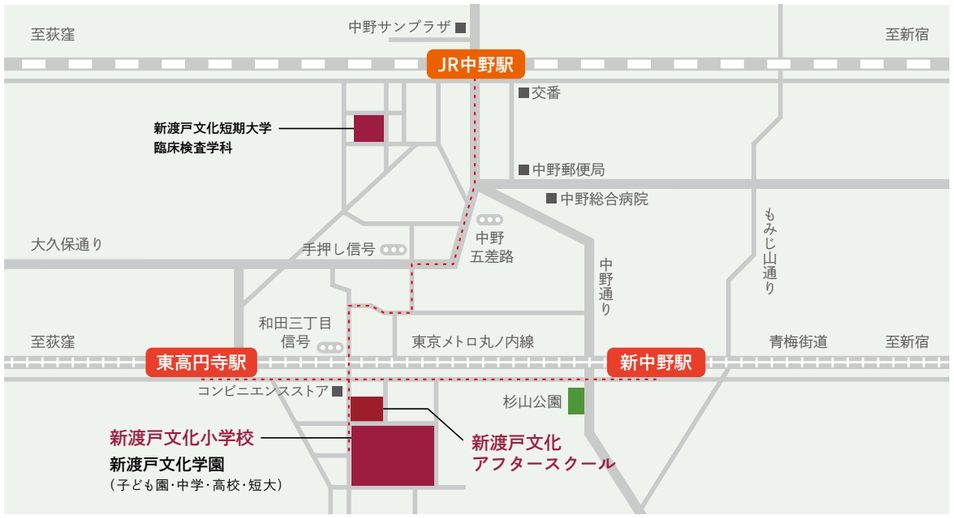
- 学校説明会は予約制になります。ご希望の方は、ホームページよりお申し込みください。
- この他にも見学できる学校行事がございます。詳細はホームページでご確認ください。
- 右記の日程以外でも、ご希望があれば随時ご案内いたします。お気軽にお問い合わせください。

学校説明会（全て2021年）

第1回	1/23(土)	10：00～11：00	オンライン開催
第2回	2/27(土)	14：00～15：00	オンライン開催
第3回	5/8（土）	14：00～15：00	オンライン開催
第4回	5/13(木)	9：30～11：30	公開授業
第5回	6/12(土)	9：30～12：00	公開授業
第6回	7/3（土）	10：00～11：00	アフタースクール体験
第7回	9/9（木）	14：00～15：30	クラブ見学
第8回	9/18(土)	9：30～12：00	体験プログラム
第9回	11/27(土)	14：00～15：30	好きなこと入試説明会

アクセス

東京メトロ丸ノ内線「東高円寺駅」から徒歩5分、「新中野駅」から徒歩7分
JR中央線・東京メトロ東西線「中野駅」から徒歩15分



主な駅からの所要時間

〈 JR線ご利用の場合 〉

新宿駅	▶ 中野駅	約4分

〈 東京メトロ丸ノ内線ご利用の場合 〉

新宿駅	▶ 東高円寺駅	約7分
荻窪駅	▶ 東高円寺駅	約6分

〈 その他 〉

練馬駅	▶ 東高円寺駅	約23分

バスなどを利用することも可能です。

新渡戸文化小学校
新渡戸文化アフタースクール

〒164-8638　東京都中野区本町6-38-1
TEL：03-3381-0124　FAX：03-3381-0125
www.el.nitobebunka.ac.jp

併設校：新渡戸文化子ども園／新渡戸文化中学校／新渡戸文化高等学校／新渡戸文化短期大学

入学案内 2022

新渡戸文化小学校

「しあわせ」を
つくる人になろう。

自分が、たのしいと思うこと。
誰かが、うれしいと感じること。
そして、世界中のみんながすてきな思いを
持ちながら、毎日をすごせること。
ここは、
そんな「しあわせ」をたくさんつくれる、
未来の大人になるための学園です。

NITOBE's keyword 1

確かな
基礎学力を持った
自律した学習者に

自分で学ぶ目的を持ち、
自分で問いを立てて探求へと進んでいく。
本校では、そんな確かな基礎学力を身につけた
「自律型学習者」の育成を目指す
教育を掲げています。

NITOBE's keyword 2

“やりたい”からはじまる
授業やプロジェクト

子ども達の中から湧き上がってくる
“やりたい”を出発点にして、
主体的に取り組む“プロジェクト型学習”。
「もっと知りたい」「学びたい」を、
体験によって伸ばします。

NITOBE's keyword 3

社会と向き合い、
社会に生きる力を獲得

IQや学力テストでは測ることができない、
社会で生きていく上で不可欠な「非認知能力」。
社会と向かい合うさまざまな学びを通じ、
積極的に能力向上を目指していきます。

官公庁からの受賞や選抜で、
高評価をいただいています

環境省主催
「グッドライフアワード」
環境大臣賞（学校部門）を受賞

「2世代教育（100年）による6次産業化を目指した次世代里山利用デザイン・プロジェクト」として応募した本校の取り組みが、私立校では初受賞しました。児童生徒と保護者2世代でオーガニックコットンを育てるなど、100年先の地球と社会を想い、活動しています。

経済産業省「未来の教室」
モデル校に選出！

経済産業省の推進事業「未来の教室 Learning innovation」において、2年連続でモデル校に選出されました。株式会社COMPASSが提供するAI型学習アプリ「Qubena（キュビナ）」の新機能の開発、Z会との探究型教材の開発、そして認定NPOカタリバとの子ども主導のルールメイキング事業の3分野において、これからの教室に求められる自律的・探究的で個別最適化された学びを、産官学で協働開発します。

カリキュラム

自ら問いを立てる、考えぬく

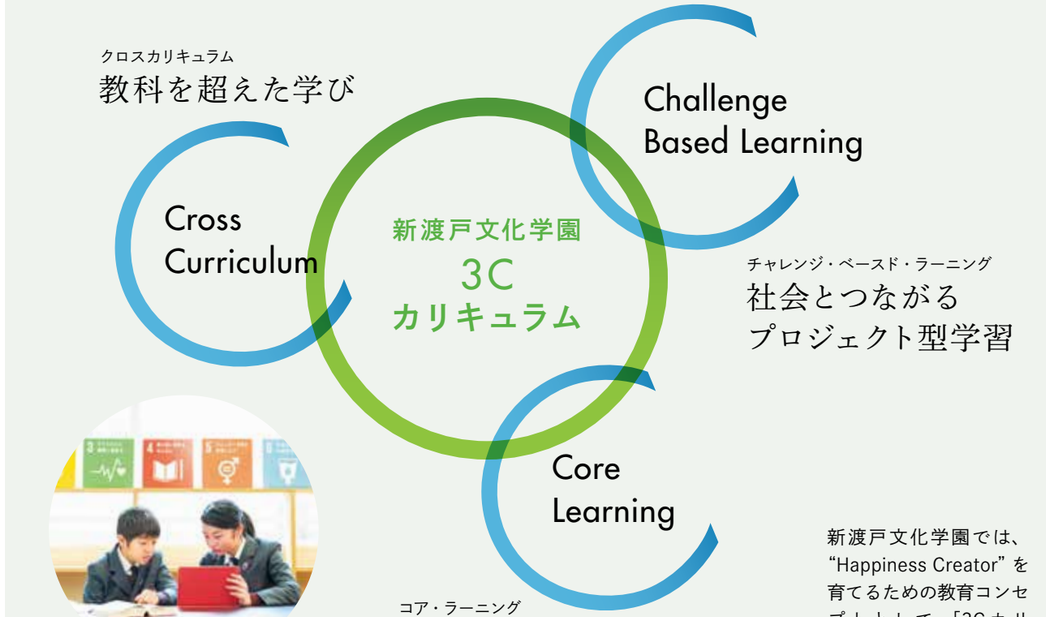
自律した学びで、自分とまわりの“Happiness”を創り出す

いつの時代も、人が学ぶ目的は「人生を豊かにするため」であることに変わりはありません。しかし、これまで以上に変化が速く予測困難といわれる時代では、学校で学ぶ目的も変化を求められています。

新渡戸文化学園では、初代校長・新渡戸稲造先生の、「*世に生まれ出でたる大きな目的は、人のために尽くすことにある。自分が生まれた時より死に至るまで、周囲の人が少しでもよくなればそれで生まれた甲斐ありというもの*」という言葉から、「Happiness Creator（ハピネス・クリエイター：自分とまわりの幸せを創り出せる人）の育成」を教育目標にしました。

そして、「何を教えるか」よりも、刻々と変化する状況を観て自分で考え、選び、実践し、顧みることができるよう、「どう学ぶか」が大切であると考え、学園の担う役割を「自律型学習者の育成」と定義しました。自分の頭で考え、社会の“Happiness”を創り出す子どもを育てることを目指します。

HAPPINESS CREATOR



新渡戸文化学園では、“Happiness Creator”を育てるための教育コンセプトとして、「3Cカリキュラム」を推進します。

Core Learning

夢を実現するための確かな基礎学力

基礎学力が定着していることは、さまざまな状況において選択肢が広がるということです。自分のしたいこと・叶えたいことを実現するための学力を身につけるために、基礎学習の習得に力を入れています。従来の学習様式に加え、ICTを活用することで、確かな学力を培っています。

1人1台 iPad導入
これからの時代で求められる力の育成、情報教育の充実、そしていつ起こるかわからない突然の休校措置に備えるため、2020年秋、1人に1台のiPadを整備しました。iPadの導入によって、子どもがより主体的となる授業の実現が可能になりました。

Qubena（算数個別学習）
得意な内容・苦手な内容は一人ひとり違います。AI型算数学習アプリ「Qubena」を利用し、自分のペースやレベルにあわせた学習をすることができます。

英語学習
１年生からネイティブスピーカーによる授業を行い、実践力のある英語を身につけます。

プロジェクト型学習

興味を持ち、アクションを起こす

「やりたい！」を形にする、新渡戸文化学園のプロジェクト型学習

子ども達は、授業をきっかけに「何かしてみたい」という思いを抱き始めます。本校では、子どもの興味を原点にして学びを進める「プロジェクト型学習」を取り入れています。「やりたい＝内的動機付け」から始まると、学習効果・持続性が高くなると心理学的にも認められてます。わくわくするようなプロジェクトを通して学ぶことで、必要な知識や技能を習得するだけでなく、これからの予測不能な社会でも活きる計画性や協働性も身につけていきます。

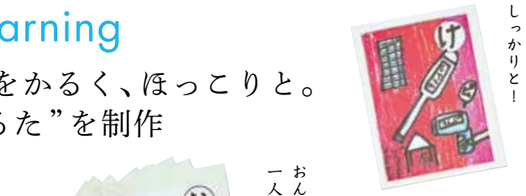
日常的な教科の中でプロジェクト型学習を取り入れることで、子ども達の「やりたい！」を大切にしています。

Challenge Based Learning

コロナ禍のみんなのココロをかるく、ほっこりと。笑顔につながる“コロナかるた”を制作

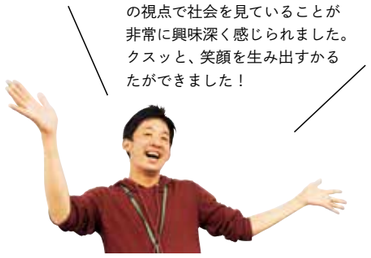
子どもたちが社会課題に関心をもち、社会へアクションを起こしていく新渡戸のプロジェクト型学習「チャレンジ・ベースド・ラーニング」。企業と連携し、実社会の課題解決に向けてチャレンジしていきます。

コロナ感染拡大において、ステイホーム、オンライン学習などを経験した３年生。暗いニュースが多い中、何か笑顔を作り出すアクションを起こしたいと考えました。地域やコロナをテーマにしたかるたを制作するデザイン会社の方々と対話したり、何度もアドバイスをいただいたりしながら、小学生ならではの視点と言葉で、コロナ禍においても気持ちをかるく、ほっこりさせられるような「コロかる（コロナかるた）」を完成させ、多くの方に遊んで笑顔になってもらえる活動をしました。



コロナについて３年生と対話すると、現状を自分ごととしてしっかり捉えられていることに驚くとともに、子どもならではの視点で社会を見ていることが非常に興味深く感じられました。クスッと、笑顔を生み出すかるたができました！

かるた制作をしているデザイン会社の方々とのオンラインミーティングの様子。



新聞（朝日新聞）、テレビ（TBS系列）等、メディアでも多数紹介されました！

▶ 学びを社会へ発信！

www.youtube.com/watch?v=yofujxH2PSA&feature

子どもたちそれぞれがデザインした作品を１つの動画にまとめて、YouTubeに公開。

Cross Curriculum

教科を超えて、学びを社会へ発信！写真・図＋言葉でデザインし、想いを伝える

実際の社会では、国語・算数・理科など、さまざまな教科の要素が混ざり合っています。本校では、複数の教科の横断的・多面的な視点から学ぶ「クロスカリキュラム＝教科を超えた学び」を推進します。

5年生では、国語科の「環境問題を報告しよう」という単元から学びがスタート。

自分の興味関心のある内容を調査し、社会科の「環境問題」の単元でテーマへの学びを深めます。学習のまとめには、新渡戸稲造先生の名前にかけた仮想SNS「inastagram（稲スタグラム）」をGoogleスライドで作成。子どもたちは思い思いのデザインを選んで、これまでに学んだ内容を整理して投稿しました。

「100字でどうやって惹き付ける？」「『○倍』やグラフを使うと、伝わりやすい？」など、子ども達は国語や算数の知識を掛け合わせ、写真・図＋言葉で学んだことの発信に挑戦しました。

学校内外のたくさんの人に見てもらうことで、自分たちの想いを発信し、リアクションをもらう喜びも味わいました！動画、ぜひご覧ください！

Focus 01　グッドアクションクラブ　※2019年度実績

自分たちでクラブを発足！
社会をより良くするために、まず行動

自分たちで立ち上げ、運営しているのが「新渡戸グッドアクションクラブ」です。未来教育カフェや環境イベントへの参加がきっかけで生まれたグループで、環境問題やペット殺処分問題など、メンバーの課題意識に合わせ、社会をより良くするアクションを自由に行っています。

中でも目玉の活動は「歯ブラシ回収プロジェクト」。全校に呼びかけ、再生プラスチックにする使用済み歯ブラシを集めています。「やりたい」を支える本校だからこそ生まれた自由な活動です。

▶ 未来の大人たちに聞いてみた。
www.youtube.com/watch?v=ws6mVSGtq_Q&feature

株式会社ユーグレナと共に、環境問題を考える人を増やすための動画をつくりました。

提供：株式会社ユーグレナ
COPYRIGHT©EUGLENA CO.,LTD.
ALL RIGHTS RESERVED.

「歯ブラシ回収プロジェクト」が
朝日小学生新聞に掲載されました！

活動報告のシェアは学外でも。「未来の先生展」などでの発表も学びにつながります。

Focus 02　檜原村プロジェクト

耕作放置地をオーガニックコットン畑にリノベーション！
Tシャツなどにして販売を目指す

人口減少と過疎化、耕作放置地や里山の放置問題など、これからの日本の抱える課題を東京都檜原村をフィールドに、親子で触れて、感じて、解決に向けての行動まで実施します。

耕作放置地を親子で開墾。心を込めてオーガニックコットンを栽培し、6次産業化を視野に商品開発と地産地消を目指しています。未来の里山のあり方を提案するプロジェクトです。

東京都檜原村の大自然を満喫しながら、畑仕事、植林、薪割り、飯盒炊飯などを行います。

2019年11月に第7回グッドライフアワード「環境大臣賞 学校部門」を私立校として初受賞しました。

非認知能力を伸ばし、
社会を生き抜く力を育てる

学力だけでは生き抜くことができない社会が到来しています。私たちはそんな不確実な社会を生き抜く子ども達を育てるため、非認知能力を伸ばしていくことを目指します。非認知能力とは、学力やIQなどのようにテストで測ることが難しいさまざまな能力のことです。（右表参照）

本校のプロジェクト型学習は子どもが主体となる独自のプログラムで、非認知能力が伸びていきます。その結果、関連する教科の学びにも興味をもち、テストや入試につながる学力も自然と伸びていくのです。

非認知能力が高い子どもの特徴

- 自分に対する自信がある、やり抜く力がある
- やる気がある、意欲的である
- 忍耐強い、粘り強い、根気がある、気概がある
- 意志力・精神力が強い、自制心がある
- 理解度を把握する、自分の状況を把握する
- リーダーシップがある、社会性がある
- すぐに立ち直る、うまく対応する
- 創造性に富む、工夫する
- 外交的、好奇心が強い、協調性がある、誠実

表は、Gutman, L. M. & Schoon(2013). “The impact of non-cognitive skills on outcomes for young people.” Education Endowment Foundationを参考に作成

Focus 03　新渡戸文化式サイエンスコミュニケーション

子どもたち主体で、
課題解決力を育む

サイエンスコミュニケーション科は、本校独自の教科です。自分や社会の課題とどのように向き合い、ふるまうかを決断していく力と、コンセンサスを形成する力を育てる科目です。子ども自身が、「思考」「対話」「行動」の主体となり、理科（知識や科学的な思考）を土台にしています。与えられたテーマへのアプローチ方法は子ども自身が選択し、学びを深めていきます。

プログラム内容は、専門機関と連携しながら、子どもの発達段階に応じたものを独自にデザインしています。

2020年度
取り組みの一例

1年生「たまごのおはなし」
様々な卵の観察を通して、「いのちをつないでいく」という生き物の営みを体感します。

3年生「めざせ！バイバイ菌」
手洗い後にUVチェッカーを使って、自分の手の洗い残しパターンを学びました。

4年生「ニホンウナギの大冒険」
ウナギが減っている？　ウナギの一生をすごろくで体験し、その原因を考えました。

6年生「地震の国で生き残れ！」
足元の大地の動きを理解し、どうすれば自分と大切な人の命を救えるかを考えます。

Focus 04　スタディフェスタ

プロジェクトの成果や熱い想いを、社会に発信する祭典

本校で立ち上がるさまざまなプロジェクト。それらは最後に“発信”という形をとることで、社会全体に影響を与えていきます。その発信の場となるのが「スタディフェスタ（スタフェス）」。

協力してくれた企業や専門家の方、地域の方や保護者にも来てもらい、自分たちが取り組んだプロジェクトの成果を発表します。いたるところで熱量の高い発表が行われ、まさに学びの祭典です。同時に中学生や高校生が学園内で行っている発表を見られるのも本校の強み。偉大な先輩たちからも学び、プロジェクトはさらに進化していきます。

自信をもって発表しているのは6年生。理科の授業で研究した“雲のできかた”をわかりやすく説明します。「どうやったらお客さんが立ち止まって聞いてくれるか」という工夫も盛り込むので、発表によってさらに成長していきます。

コロナ禍でも世界と子どもたちをつないだ、
輝く大人とのオンライン授業

感染症拡大予防のために自宅学習措置をとっていた約3ヶ月間。「学びを止めない」を合言葉に、本校ではリモートで授業ができることを活かして、「世界一うけたいオンライン授業（セカイチオンライン）」を開講しました。さまざまな業界の第一線で働く方、世界各国で活躍する方を先生とし、オンラインで対話をしました。家にいるにもかかわらず、空間を飛び越えて世界中の方々と触れ合うことができ、とても刺激的な学びになりました。

開講例

- 元青年海外協力隊の隊員
- 2つ星レストランで修業したパティシエ
- 世界で活躍する指揮者
- ルワンダ在住の方によるスーパーマーケットツアー
- カンボジアに住む人の暮らしの中継
- フィンランドの人と英語で話そう
- 声優・俳優など幅広く活躍するナレーター

アフタースクール

本気で遊べば、「得意」に変わる

POINT 1 働く保護者のための徹底サポート

必ず全員受け入れ

定員はなく全員を受け入れ。急な用事の場合もスポットで利用可能。

安心・安全のお知らせと送り迎え

入退室はメールでお知らせ。17時半以降は最寄の駅・バス停まで送迎。

台風・大雪等学校休校時でも開室

長期休暇時はもちろん、悪天候による臨時休校時なども朝７時半から開室。

夜7時まで開室

通常時は夜７時まで開室。保健室には看護師さんが夜７時まで常駐。

毎日のおやつと便利な昼食

毎日おやつを提供。また、長期休暇時も、通常通り手づくりの給食を提供。

POINT 2 放課後の時間を自分でプロデュース

アフタースクールは自由な時間。友だちと遊ぶ、学習に取り組む、おやつを食べる、好きなプログラムに参加する、何もしないでボーっとする、ものづくりに挑戦する。放課後は自分の「やりたい！」にチャレンジできる時間です。

POINT 3 子どもたちの「自律」を目指す

自律の第一歩、「時間管理」を徹底しています。帰宅時間に間に合うように支度をする、プログラム開始に間に合うよう場所を移動するなど、大人に依存せず自分で行動します。自分で何をやりたいかを考え、１日のスケジュールを決めていくのも自律には大切なことです。

POINT 4 放課後は学校全体が遊びの場

他学年の友だちと自由に過ごせる２つのメインルームの他、読書に没頭できるBook Forest、何かを調べたり創作したりできるForest Cafeなど、さまざまな場所で思い思いの過ごし方ができます。プログラムは学校施設全体を使い活動していきます。

POINT 5 常に子どもを主語に考えるスタッフ

スタッフは学生から主婦の方まで多様です。閉室後のミーティングや定期的な研修で真剣に「子どもたちを主語」に語りあっています。スタッフ全員が子どもたちの「やりたい！」を実現するため、何ができるかを常に考えています。

POINT 6　多彩なプログラム

プロから教わり、「本物」に出会う

20種類以上のプログラムから自由に選べ、自分の「好き」や「得意」を見つけ、
とことん追求できる。そんな環境がアフタースクールには揃っています。

剣道

講師／目黒雅也
剣道六段

剣道の基礎、武道ならではの礼儀作法を身につけます。中高生と一緒に練習します。

サッカー

講師／吉田未央
日本サッカー協会公認Ｂ級コーチライセンス

毎月一つ課題を設定して技術の向上を図ります。週末は新渡戸SCの活動もあります。

バスケットボール

講師／青野和人
Ｂリーグ 越谷アルファーズ　アソシエイトコーチ

チームプレーを大切に、低学年はボールに慣れること、高学年は実践的な練習を行います。

ダンス

講師／RINA
プロダンサー、パーソナルトレーナー

低学年は音楽に合わせる楽しさを学び、高学年はチームとして難しい振り付けに挑戦します。各種発表会にも出場します。

バレエ

講師／齋藤夢佳
SHOW BALLET JAPAN

コンセプトは「毎日が発表会！」。バレエの基礎や品格を身に付けながらバレエの代表的な音楽に合わせて踊る時間も取ります。

マンガ

講師／風屋ロッサリ
漫画家「もち」アシスタント

マンガに必要なストーリーやキャラクター作り、またつけペンを使用した作画技術習得などに挑戦します。

クッキング

講師／料理家、シェフ

各分野の料理のプロから実際の調理を通して和食からイタリアンまで学び、最後は自分で作った料理を保護者に振る舞います。

プログラミング

講師／学研エデュケーショナル
(もののしくみ研究室)、ロボット科学教育(FLL)

低・中学年は信号機・踏切など身近なものをプログラミング、高学年はレゴを使った課題解決型ロボットを制作します。

英語

講師／KES・Lepton

自律型英語教室。聞く・話す・読む・書くの英語４技能を学び「使える英語力」を習得。TOEIC® Testにつながる JETテストも行います。

発表会
新渡戸祭、アフタースクール発表会
（アートスタディDAY・スポーツDAY）
子ども園運動会

大会
剣道：各種大会出場
中体連東京都夏季大会（中学女子団体ベスト６、関東大会出場）
中体連第３ブロック夏季大会・都大会予選（中学女子団体優勝、中学男子団体ベスト８）
中体連第３ブロック秋季大会・都大会予選（中学女子団体優勝）
チアリーディング：USA大会（グッドスピリット賞受賞）
プログラミング：FLL（ファーストレゴリーグ）2019東日本大会出場

※2019年度実績

チアリーディング

講師／折原裕子
恵泉女学園高校 チアリーディング部 BLAZERS出身

仲間と協力し合い助け合う団体スポーツです。2年生以上は大会に出場します。

卓球

講師／国広哲弥
全日本マスターズ30代第3位、日本卓球協会公認卓球五段

最近、人気急上昇中の卓球。マシンも導入し、基本からしっかり練習します。

アート

講師／小林真衣子もみじやま絵画教室主宰、**橡本蓉子**陶芸家、**桜岡みゆき**画家、**笹野一美**高校美術コース教諭

１年生は絵画、２年生以上は陶芸・絵画・絵本制作などさまざまな分野に挑戦します。

ピアノ・フルート・バイオリン

講師／櫻井あづさ、鈴木久仁子、大橋英莉、田中秀子

個々の進度に合わせたレッスンで、初心者でも気軽に始められます。発表会も予定しています。

そろばん

講師／菅野明成
珠算五段、暗算六段

計算の基礎・数値感覚はもちろん、同時に集中力養成につながります。段取得を目指します。

書道

講師／田中葉奈
毛筆書写技能検定最高位一級

「字に上手い下手はない」「書道は自己表現の一つ」という考え方でポイントを押さえて教えます。作品展へも出展します。

プロジェクト

新渡戸カフェ

目指せインスタグラマー

子どもたちの「やりたい！」をカタチにする「プロジェクト」。社会とのかかわりを大切にしながら、リアルな取組みを子どもたちだけで生み出しています。

夏のプログラム

水風船

夏はスペシャルなイベントがいっぱい。複数回準備して最後に発表する、継続型プログラムもあります。

芸術祭（演劇）

子どもたちが作り上げるイベント

本校では、子どもたちが行事をデザインします。運動会や発表会などを、それぞれの目的を意識して、高学年を中心とした実行委員と教員たちが会議を重ねてつくりあげています。

富士研修

まるぬまキャンプ

じょんのびキャンプ

歩く会

運動会

冬の教室

年間行事スケジュール

4月
- 入学式・始業式
- 1年生歓迎会
- 歩く会

5月
- 全校授業参観日
- 親子交流会（1年）
- 農業体験学習・田植え（4年）
- 運動会

6月
- 富士研修（5年）
- 音読発表会（1～4年）

7月
- 夏休み
- まるぬまキャンプ（2・3年）
- コース別夏キャンプ（4～6年）
  - ・じょんのびキャンプ
  - ・しらかばキャンプ

8月
- コース別夏キャンプ（4～6年）
  - ・しらねキャンプ
  - ・サバイバルキャンプ
- 英語留学体験プログラム（5・6年希望者）

9月
- 水泳記録会
- 芸術祭

10月
- 遠足
- 英語研修
- 農業体験学習・稲刈り（4年）
- 創立記念日（10月16日）
- 新渡戸祭

1月
- 冬の教室（3・4年）
- もちつき（1・2年）

2月
- 球技大会（5・6年）
- スタディフェスタ（学習発表会5・6年）
- 伊勢志摩研修（6年）
- 音読発表会（1～4年）

3月
- 6年生を送る会
- 立志式（4年）
- 修了式

※2019年度実績を基準に記載しています。新型コロナウイルス対策のため、来年度以降行事内容を変更する可能性があります

食を通じて健やかな心と体を育む

日本初の農学博士でもあった新渡戸稲造先生の理念により、本校では「食」を大事に考えています。毎日の食事は、子どもの健やかな心と体を育み、未来を育む、とても大切なもの。昼食は、子ども園から高校まで校内で手づくりし、子どもたちは温かくて栄養も愛情もたっぷりの食事を毎日楽しんでいます。食の外注化が進むなか、心を込めためずらしい取り組みです。

子どもたちも大好きな美味しさ

苦手だった野菜が給食で食べられるようになったり、「今日も完食したよ！」と嬉しそうにお家で話したり。好き嫌いなく食べるのを楽しめることは人生の宝物です。子どもたちから好評なレシピが保護者の間で話題となり、本校の給食レシピ本が発売されています。

監修：学校法人 新渡戸文化学園　著：鮑子奈緒美　新潮社刊

栄養士による「安全」「安心」「愛情」の調理

食品添加物を使用しない、国内生産のものを使用するなど、素材も充分に吟味。1日に必要とされる30品目のうち15品目もの食品を給食で摂れるように配慮しています。

将来を見つめるための多種多様な大人との出会い

著名人を招き、“志”を育む「立志塾」

４年生では、さまざまな分野の著名人をお招きし、本物の“志”に触れる立志塾を実施しています。年度末には、子どもが自分自身の“志”について発表する「立志式」を行います。

プロジェクトを通した“本物”との出会い

プロジェクト型学習は、社会に開かれた学びです。学びを深めていくと、「その道のプロ」に話を聞いたり、教えてもらったりしたくなるもの。新渡戸のプロジェクト型学習では、多くのプロフェッショナルと出会い、学ぶ機会を得られます。

「VIVISTOP furniture プロジェクト」で高知県佐川町の森と学校をつなぐ。

4年生からは教科のひとつとして、クラブ活動が始まります

新渡戸クラブ

アフタースクールと連携して学べる

各分野の一流の講師に学べるクラブ活動。子どもたちは好きなクラブを選んで参加できます。さらに学びを深めたい場合はアフタースクールで同じ講師に学べます。

毎週木曜日14:15～15:45
実施回数：年間33回

クラブ例：
サッカー、剣道、チアリーディング、ダンス、バスケットボール、卓球、アート、クッキング、サイエンス、音楽、将棋、プログラミング、デジタルクリエーション

新渡戸稲造語録 _01
人の子を預る以上は『親心』を以てこれに対すること

教職員心得に書かれています。教職員全員が「どの子も我が子」の想いで児童を家族のように大切にするよう、教育者の心得として指導されました。

新渡戸稲造語録 _02
義は人が最も厳しく守らなければならないきまりです

国際的な名著「武士道～The Soul of Japan」で著された「義」。「義」とは損得や打算のない、人間としての正しい道のことで、武士道精神の中心的な考えでした。

未来をつくる人が集う学び舎

「心理的安全性が、創造性を最大化する」が本校の空間コンセプトです。
リラックスしながら「もっと知りたい！」とチャレンジを楽しめる環境づくりを大切にしています。
総合学園ならではの多世代共有スペースは、互いに多様性を受け入れながら協創する場所。
子どもたちが「未来は自分で創れる」という実感をもち、自然と笑顔がこぼれる学び舎を、今後も進化させていきます。

ブックフォレスト＆多目的ルーム

階段やクッションがあり、子どもたちは好きな姿勢で、本に夢中になることができます。

2020年9月、VIVISTOP NITOBEが誕生！

子どもたちが創ってみたいモノ・挑戦してみたいコトを「好き」を仕事にしている大人たちがサポートし、一緒になって実現する活動を行う場「VIVISTOP」が、2020年9月、世界で初めて学校の中に誕生。

VIVISTOP NITOBEでは、教室や教科、学年など、これまでの学校の仕組みを越え、先生も子どもたちも、ともにつくり、ともに学びます。日常で生まれる「問い」や「興味」をさらに深め、アートやサイエンス、テクノロジーなどを活用し、多様な価値観を持つ人たちと共創しながら、自分たちなりの思いを実現させる活動をつくります。

www.nitobebunka.ac.jp/vivistop/

Nitobe theater

新しくできた、学校の中にある「映画館」。大迫力のあるスクリーンがあります。

新渡戸キッチン

食育で高評価をいただく本校の自慢のキッチン。つくる、たべる、つながる笑顔があふれます。

ガーデン

中央のクスの木に見守られ、芝生の上をかけまわったり、寝っ転がったり。大人気のスポット。

音楽室

「音楽」×「体育」でダンスもできる広い音楽室。子どもたちが全身で喜びを表現できる空間です。

グラウンド

全面天然芝で、思いきり走り回れます。（学園全体で共有）

大体育室

冷暖房完備。どんな季節や天候でも思いきり体を動かせます。

最新のIT技術と常駐警備員による、強固なセキュリティ

登下校メール

SuicaやPASMOを使った登下校メールシステムを使い、児童の登校・下校時刻が確認できるメールがご家庭に届くことで、大きな安心材料となっています。また、緊急時、児童の位置確認や連絡用に携帯電話の所持も許可制で認めています。

メール連絡網システム「マチコミ」

学校からご家庭へは、メール連絡網システム「マチコミ」を利用して、迅速かつ確実に情報を共有します。スマートフォンからは、メールだけでなくアプリでより便利に。欠席や、検温報告もアプリで連絡が可能です。

小児科オンライン

体調が悪いけれど、病院に行けない時などに、現役の小児科医にオンライン相談ができます。どんな小さなことにも丁寧にアドバイスしていただける、安心のシステムです。

学級運営

複数の大人が寄り添い見守る体制

本校では、1学年を3人の教員がチームとなって担当します。複数の大人の目で見守ることで、子どもにとって開放的で公平な学級運営を実現します。教員としても余裕が生まれ、子どもと接する時間が増えるため、子ども同士の人間関係トラブルを未然に防ぎやすくなります。

制服

自分でコーディネイトを工夫できる人気の制服

2017年にフルモデルチェンジ。品位と風格を漂わせるグレーの生地を用いて、都会的なセンスを感じさせるデザインに仕上げました。赤やグレーのセーターなどコーディネイトを自分で選べる工夫が好評です。ご家庭で洗濯できる素材ですので、子どもたちは何事にもアクティブに取り組めます。

新渡戸稲造語録_03
人格の後光を放て

まぶしく光を放つように人格を磨くようにと、人格形成を重視されました。
「違いを認めあい、相手を思いやる心」こそが国際的感性と説きました。

新渡戸稲造語録_04
逆境のときの努力は必ず報いられる

苦しい時にがんばったことは、必ずその経験が力になり後から活かされ、良い結果につながる結果が待っていると、葛藤がある時を励ます言葉です。

新渡戸文化学園は、新たな次の100年に向けて挑戦を始めています

1927年に創立された新渡戸文化学園は、2027年に創立100周年を迎えます。
国際社会で活躍された新渡戸稲造先生と森本厚吉先生の
建学の精神を受け継ぎ、人格教育に力点をおく、あたたかな学園運営をしてまいりました。
国際性や多様性、持続可能な開発目標（SDGs）など、
変化の速い時代に合わせて、さらに変革を続けてまいります。
次の100年に向けて、日本中の学校が目標にする教育機関に進化することを目指します。

自ら学びに向かう力を持った「自律型学習者」の育成を

新渡戸文化学園
小学校校長
杉本竜之

「何のために学ぶのか」と自分で学ぶ目的を持ち、自分で問いを立て、探求へと進んでいく。

これは、予測不可能な時代だからこそ、これまで以上に子どもたちが自らの人生をしあわせにしていくために欠かせない力です。

本校では、基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけ、自ら学びに向かう力を持った「自律型学習者」の育成を目指し、本校の伝統である「どの子も我が子」の精神で一人一人の子どもたちを丁寧に支援してまいります。

受け継いだ思い

かつての五千円札の肖像としても有名な新渡戸稲造博士は、日本の精神文化を流暢な英語で紹介した「武士道」の著者としても知られています。1920年には国際連盟の事務次長を務めるなど、国際人として世界平和に尽力されました。一方で女性の教育にも力を注ぎ、新渡戸文化学園の前身である「女子経済専門学校」の初代校長も務められました。

近代日本の幅広い分野で大きな足跡を残した新渡戸稲造博士の思いをしっかりと受け継いでいるのが、新渡戸文化学園なのです。

初代校長
新渡戸稲造 博士
（1862〜1933）

新渡戸稲造博士が女子経済専門学校（通称は経専、現：新渡戸文化学園）校長に就任した際、語ったこの言葉を受け継ぎ、生徒一人ひとりの人格を尊重した愛の教育を実践しています。

“尊い人の魂を自由に伸ばさせるには、愛の教育を基調とせねばならぬ。経専は親心をもって教える教師による愛の学校でなければならぬ。生徒をかわいがることによって、叱る以上の効果を上げねばならぬ”

新渡戸文化中学校

学園が最上位目標として掲げる「Happiness Creator」を目指して、自分と世界の幸せを作り出すための学び。それを実現するために、新渡戸文化中学校では「思考を支える豊かな学力」「自ら問いをたてて考え抜く課題解決力」そして「リアルな社会とつながる行動力」を育成するカリキュラムを展開しています。

少人数ならではの強み、そして充実した施設と魅力的な教師陣は生徒たちの学びに対するモチベーションを一層高めています。

新渡戸文化高等学校

中学校同様、小学校と同じキャンパス内にあり、６つのコースを備えた普通科課程の学校です。それまで培ってきた自律型学習者のマインドは主体的に考え行動し、責任をもって社会変革を実現していく力“学びの羅針盤”へと成長します。それぞれが幸せにしたい世界に向かって知性を磨き、スキルを身に付けます。

専任教諭に加え、コースに合わせた併設短大教授やプロフェッショナル講師陣による授業が生徒一人ひとりの進路を豊かにひらきます。

自分のやりたいことを極める6つのコース

- 特進文系コース
- 特進医療理系コース
- 美術コース
- 音楽コース
- スポーツコース
- クッキングコース

未来を共に創るパートナー
NITOBE FUTURE ADVISER

新渡戸文化学園の理念に共感し、教育活動へのアドバイスや社会にその取り組みを発信してくれる心強い応援団です。

アドバイザーの方々からは生徒や保護者に向けた特別授業や講演も予定しています。ご期待ください！

大空小学校
初代校長
木村泰子さん

慶應義塾大学大学院
システムデザイン・
マネジメント研究科 教授
前野隆司さん

コモンズ投信株式会社
取締役会長 兼 ESG最高責任者
渋澤 健さん

エシカル協会 代表理事、
ユネスコ 広報大使
末吉里花さん

明蓬館高等学校 学校長・理事長
日野公三さん

FutureEdu 代表理事
竹村詠美さん

株式会社morich 代表取締役
森本千賀子さん

ラーンネット・グローバルスクール 代表
炭谷俊樹さん

Think the Earth 理事、
多摩美術大学 客員教授
上田壮一さん

日本パラリンピアンズ協会 会長
大日方邦子さん

ほか、多数！